

【注意事項】

R20TS0301JJ0100

Rev.1.00

2018.04.16 号

統合開発環境 CS+

概要

統合開発環境 CS+の使用上の注意事項を連絡します。

1. RH850 ファミリで 256KB 以上のデータフラッシュ領域の消去を行う場合の注意事項

1. RH850 ファミリで 256KB 以上のデータフラッシュ領域の消去を行う場合の注意事項

1.1 該当製品

- 統合開発環境 CS+ V6.01.00
- 【無償評価版】統合開発環境 CS+ for CC V6.01.00

上記の統合開発環境を以下の組み合わせで使用した場合に該当します。

- ・対象 MCU : RH850/F1KH グループ、対象デバッグツール : RH850 用デバッグツール

1.2 内容

データフラッシュ領域の消去を伴う操作を行ったとき、図 1.1 に示すエラーが発生し、データフラッシュ領域の消去ができません。

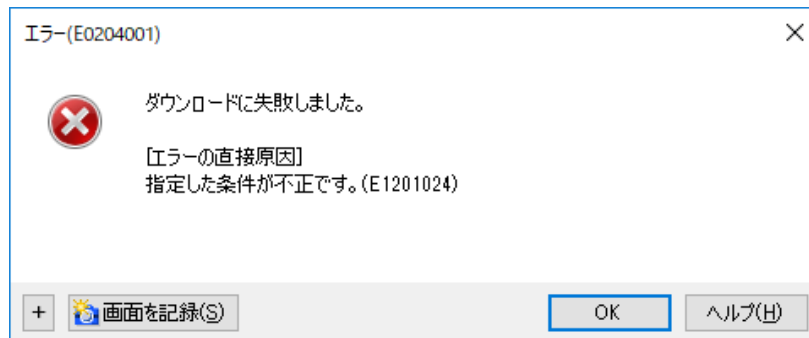


図 1.1 エラー(E0204001)ダイアログ

1.3 発生条件

以下 (1)~(3) のいずれかの操作を行った場合に発生します。

- (1) デバッグツールのプロパティで[ダウンロード・ファイル設定]タブ[ダウンロード]カテゴリの[ダウンロード前にフラッシュ ROM を消去する]プロパティを"はい"に設定し、データフラッシュ領域に対してダウンロードを実行
- (2) Python コンソールでデータフラッシュ領域に対してダウンロードを実行時、ダウンロード前にフラッシュ・メモリを初期化しますを"True"に設定し、データフラッシュ領域に対してダウンロードを実行
- (3) Python コンソールでデータフラッシュ領域の消去を実行

1.4 回避策

データフラッシュ領域の消去を行う場合は、Renesas Flash Programmer 等のプログラマを使用してください。RH850/F1KH グループに対応した Renesas Flash Programmer の入手については、弊社営業または特約店にお問い合わせください。

1.5 恒久対策

2018 年 7 月公開予定の統合開発環境 CS+ のリビジョンアップで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2018.04.16	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社
〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先

<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。